

# 役員会（要旨）

日時 平成 26 年 11 月 6 日（木）午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分

場所 学術情報総合センター6F 会議室

構成員 西澤理事長、柏木副理事長、桐山理事、安本理事、石河理事、藤野理事

出席者 井上副学長

## 【審議事項】

### 1 第 26 次構造改革特区への大阪市との共同提案申請について

<事項区分>法人事項

<所管理事等>西澤理事長

<資料説明者>平井研究支援課長

<概要>

産学官連携推進の為、特区への提案申請として「公立大学法人の大学発ベンチャー企業への出資による地域活性化推進事業」を提出することの審議。前回の審議時は知財による現物出資のみであったが、今回は現物出資に限らず現金の出資も含めた内容である。

<意見内容>

- ・今回の提案を申請するにあたり、資料を作成し関係各所を訪問してきている。それらのことは、職員自身の知識を向上させ、法人としての考え方を伝えていく機会となったと言える。
- ・ベンチャー企業の立ち上げを目的とした工学部辻本教授の研究は特区の申請と関連は深いですが、個別対応可能である。同研究と今回の申請は並行して行う。

<審議結果>

- ・原案のとおり承認。

## 【報告事項】

### 1 国際化グランドデザイン（仮称）の策定について

<事項区分> 大学事項

<所管理事等> 西澤理事長

<資料説明者> 桐山理事

<概要>

「スーパーグローバル大学創生支援」事業申請に際して検討した、主に「教育プログラム」「教務体制」「ガバナンス」の国際化戦略構想を生かしつつ、長期的視野に立った国際化グランドデザイン（仮称）を策定するため、国際化戦略本部のもとに新たにワーキンググループを設置する。

<意見内容>

- ・ 現在メンバーに医学研究科の教員は含まれていないが、今回の立ち上げのワーキンググループのメンバーについては随時見直し予定である。
- ・ グランドデザインの策定に向けて邁進していただきたい。

### 2 杉本キャンパス防犯対策等会議からの提言について

<事項区分> 法人事項

<所管理事等> 西澤理事長

<資料説明者> 富澤学生担当部長（杉本キャンパス防犯対策等会議議長）

<概要>

平成 26 年 3 月に設置した杉本キャンパス防犯対策等会議での議論、学生向けのアンケート及び関係研究科・学部長からの提案をもとに策定した「安心・安全なキャンパスライフのために（提言）－杉本キャンパス防犯対策アクションプラン－」についての報告。本年度は防犯カメラ等の予算が付いているものを実施していく。

<意見内容>

- ・ 鍵の管理方法等のあり方について今後、議論していただきたい。
- ・ 今回の提言内容を実施していただき、また、今年度実現できなかった分に関しては来年度以降も実行していただきたい。

## 【その他事項】

### 1 新大学検討会議

・11/17（月）新大学検討会議の案件確認を行った。

### 2 部局長等連絡会

・11/17（月）部局長等連絡会の案件確認を行った。

### 3 エボラ出血熱対策準備チームの設置について

<事項区分>大学事項

<所管理事等>石河理事

<資料説明者>川上医学部・附属病院運営本部事務部長

<概要>

西アフリカ諸国で流行しているエボラ出血熱の世界的拡大が懸念されており、わが国でも10月24日に厚生労働省から「エボラ出血熱の国内発生を想定した医療機関における基本的な対応について（依頼）」が出された。エボラ出血熱は、第一類感染症に分類されるため、特定・第一種感染症指定医療機関が対応することとなるが、指定医療機関以外の医療機関に受診する可能性も否定できないことから当院での対応等について検討する場を設置することとなった。患者対応は病院戦略会議において、感染制御部が行うことを決定した。

12月末に大阪市保健所と大阪市立総合医療センターと本院とで訓練を実施する予定である。

### 4 エボラ出血熱の流行について（注意喚起）

<事項区分>法人事項・大学事項

<所管理事等>西澤理事長

<資料説明者>畑安全衛生管理室長

<概要>

西アフリカ諸国で流行しているエボラ出血熱に対して、教職員・学生向けの注意喚起である。